

令和6年度 音江中央保育園 自己評価

【まとめ】

令和6年度は一年を通し、職員の離職がなく配置ができました。

職員の任務の差や経験年数の違いなどに配慮した評価表を作成しそれぞれの立場で意見交換ができました。

「こころをまんやかに やさしくつよく」のキャッチフレーズに基づいて子ども達への丁寧なかかわり、やさしい声掛け、心に寄り添うように努力していますが、日々の生活の慌ただしさに、余裕が持てなくなる時には職員同士がコミュニケーションをとりあえてゆっくり話したり、わかりやすく伝えるようにしました。

保育の質の向上のため、スキルアップのため研修にも積極的に参加しました。常勤保育士のみならず、非常勤保育士や給食担当者も交え、研修報告や動画を活用した園内研修を実施し自己研鑽に努めました。

次年度は以上児、未満児ともに、日常的に打合せ時間を確保、支援が必要な子などの対応を情報共有するようになりたいと思います。

子ども達が健康で安心安全に過ごすということは、職員自身も健康管理をしながら、体調を整え仕事に向き合うことが大切だと話し合いました。

給食関係では、アレルギー対応や離乳食など、職員間でのコミュニケーションをとりながら、今後も子ども達が楽しく食事ができるようにしたいと思います。

今後も園全体でスキルアップを図りながら、明るい職場と子ども達が自然の中で心も体もたくましく成長できますように努めていきます。